

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

矢田地区

平成29年9月

愛知県西尾市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる 確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地域交流施設の利用人数	人/年	3,942	40,000	39,277	確定 見込み ●	△	あり ● なし	47,260	平成29年7月	○	新たなイベントの創出や、既存のイベントのブラッシュアップなど、ソフト事業の活性化により住民同士の交流が促進され、利用者の増加に繋がったと考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ふれあいセンターの新設や、整備区域内の土地区画整理事業などの進展に伴い、区域内人口の増加が進んだことにより、施設の利用者が増加した。
指標2	1人当りの公園等面積	m ² /人	0.253	1.0	1.039	確定 見込み ●	○	あり ● なし	1.006	平成29年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	既存の公園等に加え、公園ワークショップなど地域住民の意見も取り入れながら、公園整備も順調に進み、1人当りの公園等面積が増加した。
指標3	整備区域内の居住者人口	人	10,730	12,000	12,230	確定 見込み ●	○	あり ● なし	12,207	平成29年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業や下水道整備などの基盤整備の進展や、公園、ふれあいセンターなどの魅力ある交流機能が整備されることにより、区域内全体の住環境が向上し、人口増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる 確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定 の別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標1					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標2					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させる ために行う方策 	住民同士の交流の促進	矢田ふれあいセンターで活動している文化事業団体の出展や、地元町内会による炊き出しなど、地域住民を参加者の主体とする矢田ふれあいセンターフェスティバルを実施した。	イベントの実施によりふれあいセンターで行っている文化事業、講座の周知が図られたことにより、利用者の増加に繋がった。	今後も継続的なイベント開催を行うことで、ふれあいセンターで実施している事業の周知をすることにより、住民同士の交流の促進を行う。
	居住環境の更なる向上	まちの美化活動として、地元町内会において公園の清掃活動を実施した。	自分たちのまちを自分たちで清掃することにより、居住環境の向上に加え、地元への愛着の湧出に繋がった。	今後も継続的に清掃活動を実施するため、町内会役員の任期の切り替えの際に、申し送りを確実にする必要がある。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	狭隘道路の解消	区画整理区域内で赤道を取り込んで新たな形態に変えることにより道路の拡幅を行った。	区画整理区域内については左記により道路拡幅することにより防犯性が高まった。	道路の拡幅による狭隘道路の解消については地元要望により順次事業を実施する必要がある。
	空き家・空き地の適正な管理、利活用	悪影響を及ぼす可能性のある空き家等の有無を、当該整備区域を含む市内全域について町内会長を通じ情報提供をしてもらうことにより、件数の把握をした。	情報提供にもとづき空き家等の把握をした場合は、所有者に適正管理を行うよう指導している。	空き家等の発生予防に向けた意識啓発や相談体制の整備、行政と地域等との連携により協働で問題解決を図るなど、空き家等を発生させない体制づくりを進める必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項